

# 平成25年度 部局長マネジメント方針

なかに きょうこ  
健康部長 中谷 恭子



## 仕事に対する基本姿勢

健康部は、市民が健康に生活できるよう、健康で元気に暮らせるまちづくりを推進しています。専門職が多い職場であり、専門性を生かしたきめの細かい市民サービスや市民の自主的な健康づくりをサポートできるように様々な取り組みを行います。

また、保健・医療の関係機関だけでなく、患者や家族など市民みんなで医療を支え、市民が自らの状態に合った安全・安心な医療をうけることができるまちづくりを推進します。

そして、生活の質を高め、市民が安全で快適な暮らしを送ることができるよう、生活衛生が行き届いたまちづくりの推進に努めます。

さらに、現在中国で鳥から人へ新たなインフルエンザの感染が確認されています。このような脅威に対処するため、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づき策定する本市行動計画に沿って、医療機関の確保や感染拡大防止に努めます。

これらのことから、健康部では、下記の項目を重点課題として、庁内関係部局や大阪府及び各関係機関との連携を図りながら、市民が安心して健康で暮らせるように努めてまいります。

## 平成25年度に取り組む重点課題

### 1 地域の医療機関の連携を図り、医療体制の確保につとめる

- ・全国的に小児科医師が不足しており、東大阪市、八尾市及び柏原市からなる中河内医療圏におきましても小児科医療の確保が困難な状況であります。本市では、八尾市、柏原市と連携するとともに、医療機関や医師会等の協力による小児救急医療の体制を引き続き確保してまいります。
- ・必要な医療を必要なときに適切に受けられることができるよう、日ごろから気軽に相談できるかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局をもつことや、急な病気やケ

がどうしてもよいのか迷ったときに相談できる#7119（救急安心センターおおさか）の活用など、医療機関の適切な利用について理解を深めていただくよう啓発に努めます。

## 2 健康づくりの推進

- ・平成25年度からスタートする市民の健康増進を目的とした「健康トライ21（第2次）計画」に基づき、健康づくりを目的に活動している市民グループや関係団体等と連携・協働し、糖尿病や高血圧、脳血管疾患、心筋梗塞などの生活習慣病の予防を含めた健康づくりを行っていきます。また、平成25年度には、歯・口腔の健康管理が全身の健康づくりに重要な役割を果たすことから歯科口腔保健計画(仮称)を策定し、障害を持つ方も含めて小児期から高齢期までを包括した歯科保健の推進に努めます。
- ・がん検診対策においては、国の「がん検診推進事業」である無料クーポン券の送付を継続し、受診しやすい環境の整備や啓発を行い、受診率の向上をめざすとともに、学校と連携し従来から取り組んでいる思春期保健事業や、教育関係団体に働きかけ、がん予防・がん検診の重要性を周知・啓発する取組みを強化します。
- ・子育て支援として乳幼児健診を始め様々な機会をとらえ、電話や面接による相談を受けるなど保護者が相談しやすい体制を整え、乳幼児の発達や育児上の悩み、不安をかかえる家庭に訪問などの個別の支援をより丁寧に行っていきます。
- ・自殺予防対策として、自殺を未然に防ぐための人材の養成や講演会等を実施し、自殺のハイリスク者層への取組みを強化します。

## 3 食品衛生の推進

- ・腸管出血性大腸菌（O157など）やノロウイルスによる食中毒事件の発生、輸入食品の増大に伴う残留農薬の問題など、食の安全・安心への関心が高まっているなか、市内に流通する食品の安全を確保するために、食品の細菌検査や残留農薬などの理化学検査、市内の食品関係施設の監視指導をさらに充実させていきます。